

森を育て輪廻を見守る力に!

●浦高百年の森・草刈の様子から・・・!

先週の土曜 18日は「浦高百年の森・草刈」(寄居町風布)が行われました。これまでは10年間、雨知らずでしたが、今回は台風の影響であいにくの雨の中での作業だったようです。私は木曜日の孫守で腰を痛めてしまい参加することができず、ドタキャン。参加された皆勤賞の石田知己さん(高16回)から、18日の夜に写真と記事を送っていただきましたのでご紹介を・・・。

* *

◆浦高百年の森

香田さん、お孫さんに負けて、やむなく欠席とのこと、お会いできず残念でした。初めての雨中の作業に96名が参加。昼食時には恒例の川野同窓会会長(ヤオコー)提供のきゅうり、トマト、すいかが振る舞われた「百年の森」での写真をお送りします。雨のため、全員での集合写真は割愛されました。



〔写真①〕昼食後にはオーボエの渡辺克也さんのミニコンサートが開かれ、5曲が演奏されました。4曲目の浦和一女の校歌は浦高OBで知っていた人ほとんどなし。5曲目の浦高校校歌は全員で斉唱しました。



〔写真②〕雨の中、聴き入る参加者です。現役時代は応援団だった藤野事務局長の初めての「百年の森」ということで名刺代わりのエールでコンサートを締めました。



〔写真③〕春日部地区浦高会から参加の3名と1家族です。

以上。

* *

こうして写真と記事を送ってくださる先輩がいることに感謝です。皆様、今回は不養生で申し訳ございませんでした。次回10月11日(日)は頑張ります。

●自生し始めた森!

平成17年10月に浦高創立110年記念事業としてスタートした「浦高百年の森」も今年で丸10年を迎えています。多くの方々のご協力で森が自生するまでに育って来ています。今年4月には春日部地区浦高会と久喜麗和会の会員で森の散策を楽しみました〔写真④⑤〕。



* *

●若手参加者にインタビューを!

さて、今回もご家族で参加してくれた伊藤貴成さん(高47回、春日部地区浦高会幹事)に幾つかの質問にお答えいただきました。

◆毎回、ご家族でご参加いただきありがとうございます。ご家族での森参加は、もう何年になるのでしょうか?

〔伊藤さん〕5～6年程前から、家族連れで参加しております。最初の頃は、現在5歳の末娘がまだ生



まれておらず、時の経つのが感じております。また、この百年の森で鳥井副会長をご紹介いただいたことがきっかけで、私

が春日部地区浦高会に参加させていただくこととなったわけで、私にとっては新たな出会いの場でもありました。〔写真⑥:11年7月の百年の森集合写真には伊藤さんとお子さんの姿も・・・〕

◆参加のきっかけは、どういうものでしたか?

〔伊藤さん〕その当時、柔道部OB会の柴崎名誉会長が浦高同窓会の副会長をされていたため、柔道部OB会としてなんとか同窓会に協力しよう、...ということで、「否も応もなく」参加ということになりました。最初は何をするのかも分からず、ただただ人数を集めて参加していた、という感じでした。いかに柔道部OB会が運動部らしいOB会かがよくお分かり頂けると思います。(笑)

◆最初の頃の厳しい場所での作業を（柔道部は体力勝負を）求められたと思いますか？

〔伊藤さん〕今も昔も厳しいのは、夏の下草刈です。特に植樹した木々がある程度成長するまでの間は、地面まで陽が良く当たってしまうため、雑草が伸び放題のジャングル状態になっていましたので、厳しさもひとしおでした。

また、雑木の伐採も大変でした。直径 30 センチはあろうかという木を、枝打ち用の小さなのぎりやまき割り用の鉞で無理やり倒す、、、というものでした。多少腕に覚えある柔道部OBとはいえ、さすがにあれはツラかったです。

◆最近の作業はどうでしょうか？

〔伊藤さん〕柔道部OB会は、他の参加者と比べて平均年齢が若いので、事務局にも当てにされている節があり、いつも過酷な急斜面での作業が多いため、毎回それぞれに大変でした。

ただ、最近は植樹した木々が成長してきたので雑草もそこまで繁茂せず、数年前と比べると少しは楽になってきたかな？と思います。

◆奥様とお子さん達を連れて来られたきっかけ、理由は…？

〔伊藤さん〕柔道部OB会のイベントにもよく参加しているので、そのノリで参加しています。私が一人で出かけてしまうと、子供たちの面倒をカミさんが一人で見なくてはならないため、それなら一緒に行こうか？と言うのが始まりかと思います。また、同窓会やOB会にはたくさんの「じいじ」や「お兄ちゃん」がいるので、私としては安心して子供たちを連れて行けるというのも大きな理由です。

◆奥様やお子さん達の反応は？

〔伊藤さん〕子供たちは、柔道部のお兄ちゃん達とお山で遊べて、夏はスイカ・秋は豚汁が食べられる、、位にしか考えていないと思います。いつも泥だらけになって楽しく遊び、帰りのクルマの中では爆睡なので、自分がやっていた過酷な作業と考えあわせると、若干の不公平さを感じます。そろそろ大人の世界の厳しさを教えてやろうと、今秋より作業に参加させようかと画策しています。

カミさんは、山にそれほど興味はないので、よく黙ってついて来てくれているなと思います。（私が不平不満を聞いていなかったり取り合わなかったりするだけかもしれませんが、、、）百年の森に限らず、普段から勝手気ままにさせてくれているので、大変ありがたいと思います。伊藤家の中では、私が一番手のかかる「子供」なので、これからは少しはお利口にしようと思います。

◆伊藤さんはまだまだ30年近く森を見ていくことができると思いますか、30年後の森に託しての思いは？

〔伊藤さん〕自分の植えた木々と私の子供たちはほ

ぼ同世代なので、共に大きく育っていくのを見続けていければと思います。寄居の山の木々と同じように、子供たちも元気にすくすく育ってくれるといいな、と願っています。

また、百年の森という事業を継続していく事の大変さは想像に難くないので、一人でも多くの後輩に参加してもらい、次の世代へ繋いでいかななくてはならない、と思っています。

◆今回、初めての雨中での作業は？

〔伊藤さん〕今回、柔道部OB会が担当したのは間伐した木の枝払い・皮剥きだったので、下草刈ほど大変ではなかったのですが、水分を含んだ重い生木の搬出には往生しました。また、雨で足元が悪いため作業が思うように進まず、しかも全身濡れぬずみとなってしまったので体力が奪われてしまい、作業時間の割には身体にこたえました。（この日は荒天のため作業が午前中で切り上げとなりました）

ただ、例年のうだるような暑さの中の作業と言うわけではなかったため、私にとっては精神衛生上良かったです。

◆その他、何でも結構ですので、コメントを…！

〔伊藤さん〕自然に囲まれ、鳥の鳴き声を聞きながらの作業は、日頃の運動不足やストレスの解消にはもってこいだと思います。百年の森の作業へ参加した日の晩酌のおいしさは私が保証致します。

また、慣れない作業は心配かもしれませんが、皆さんのほとんどは柔道部OB会員ではないので、上記のような過酷な作業に従事することは恐らくありませんので（？）どうぞご安心ください。

何につけても、人数は沢山いた方が楽しいに決まっています。みんなでワイワイやりませんか？ 春日部地区浦高会の皆さん（特に若手の皆さん！！）の多くのご参加を、伊藤家一同（笑）お待ちしております。

〔香田〕ありがとうございました。これからもご家族でのご参加をお願いいたします。そして、お子さん達も戦力となってくれることを期待しています。

* *

人間に輪廻があるように、森にも 300 年くらいで輪廻があるそうです。私たちが森に関われるのは、そのうちの 20 年～30 年かも知れませんが、次の世代の人たちに上手にバトンタッチしていくことで、森の成長と輪廻を見守ることができれば幸いです。伊藤さんをはじめ小さなお子さん達を連れて来られた方々、さらには浦高現役世代の皆さんには、50 年～60 年とこの森に関わっていただければと期待します。次回は 10 月 11 日(日)の 10 周年記念間伐と 11 月 29 日(日)の間伐とみかん狩りです。

